



建設現場の生産性を 向上させる方法



目次

- 3. はじめに
- 4. 最新の機器を使用
- 5. デジタル化への取り組み
- 6. 保有工具の真のコストを算出
- 8. セキュリティリスクの軽減
- 10. スキルおよびトレーニングへの投資
- 12. 効率的な資産管理
- 14. ヒルティについて

はじめに



建設の生産性はこの数十年間横ばいです。世界最大の産業のひとつであるにもかかわらず、その生産性に関するデータは他の産業より立ち遅れており、世界経済全体の2.8%、製造業の3.6%に比べてわずか1%しか成長していません。[McKinsey Global \(2017年\)](#)の調査によると、労働者の生産高は20年前とほぼ同じです。

構築された環境に依存する経済において、建設業は国家の生産性を改善する要です。何が建設業の生産性向上を阻止しているのでしょうか。

建設業が直面している主な課題は、コスト管理、コンプライアンス順守、仕事を完遂するために適正なスキルを持った十分な人材／労働力の確保と管理です。

プロセスの非効率性、計画外のコスト、非生産的な労働力は、プロジェクトの全体コストの最大25%に相当する場合があります、お客様の事業とその収益性に悪影響を与えかねません。

建設業で生産性が上がらないのは何故か

- 建設現場では平均して毎月6つの資産が紛失しており、事業に7,000ポンドの損失を加える可能性があります。
- 企業の70%は、昨年少なくともひとつのプロジェクトが失敗したと報告しています。
- 期日通り、予算通りに完成したのは、全プロジェクトの1/3にも届きません。

(出典: 英国の統計)

聞き覚えがありますか？

これらの課題を軽減し、隠れたコストを取り除く方法があります。本ガイドでは、お客様のビジネスの生産性向上にむけて着手できる簡単な手法をご説明します。

最新の機器を使用



技術の進歩に伴い、電動工具は安全性やユーザーの快適性、並びに生産性や利便性を増す新しい機能により、絶えず進化しています。

適切な建設機器や工具の選択は、多くの場合、仕事を完成させるまでに必要な時間や労力に影響を与え、従ってプロジェクト現場の生産性に影響を与えます。

工具は軽量になり、作業員の負担を軽減するように改良されています。人間工学を採用した新しい設計により、工具の取り回しが改善し、より安全かつ効率的に使用できるようになります。

市場に出ている新しい技術は、10年前に製造されたものに比べて抜群の速度、快適性と信頼性を備えた工具を提供しています。

- 工具を酷使して使用したために、修理を必要としたことがありますか。
- 過熱やハンマーリング性能の低下により、工具が冷めるまで待たなくてはならないことがありますか。

最新の機器への投資や工具を保証してくれるパートナーを選ぶ事で、信頼性の低い工具によるダウンタイムを避ける事ができます。

ヒルティでは、工具の使用現場と同じ過酷な環境下ですべての工具をテストし、技術革新に影響を与え、工具とアクセサリーが一体となって機能するシステムとして工具を設計できるようにしています。

デジタル化への取り組み



生産性を高めることに関しては、デジタル技術を採用することが最大の利益を得られる近道です。

ある調査(2018年)によると、デジタル化した業界は最大1,500%の生産性の増加を享受していますが、建設業界は世界で2番目の最もデジタル化が進んでいない業界です。建設業界における共通の問題は、資産やビジネスプロセスをごく少数の企業しかデジタル化していないということです。

未だ、紙ベースのシステムやスプレッドシートのつぎはぎで機器を管理していますか。

そのような管理は、従業員の時間を無駄にし、生産性にダメージを与え、会社に高額なコストを被らせるお金のかかるミスを引き起こすリスクに晒されています。工具の使用頻度など、建設現場やプロジェクトのデータ測定能力を持つことは重要です。これは、お客様のビジネスにおいて改善の必要があり、生産性を向上でき、コストカットできる領域についてより多くの情報を得られることを意味します。

資産管理やプロジェクト管理ソフトウェア、ビルディング・インフォメーション・モデリング (BIM)などの新しい技術と手法は、待ち時間や費用が嵩むやり直しを軽減します。BIMと結合された**資産管理ソフトウェア**は、プロジェクトの収益と生産性を最適化する高効率で収益性の高いプラットフォームを提供します。適切な資産管理ソフトウェアは物理的資産への不必要なコストを削減し、スタッフの時間を解放して、より生産的な仕事に時間を割けるようになる為、現場での遅れをなく十分に元が取れます。

資産管理のデジタル化については、こちらの資料をご確認ください。

[建設業向け「デジタル資産管理のご案内」ダウンロード>](#)

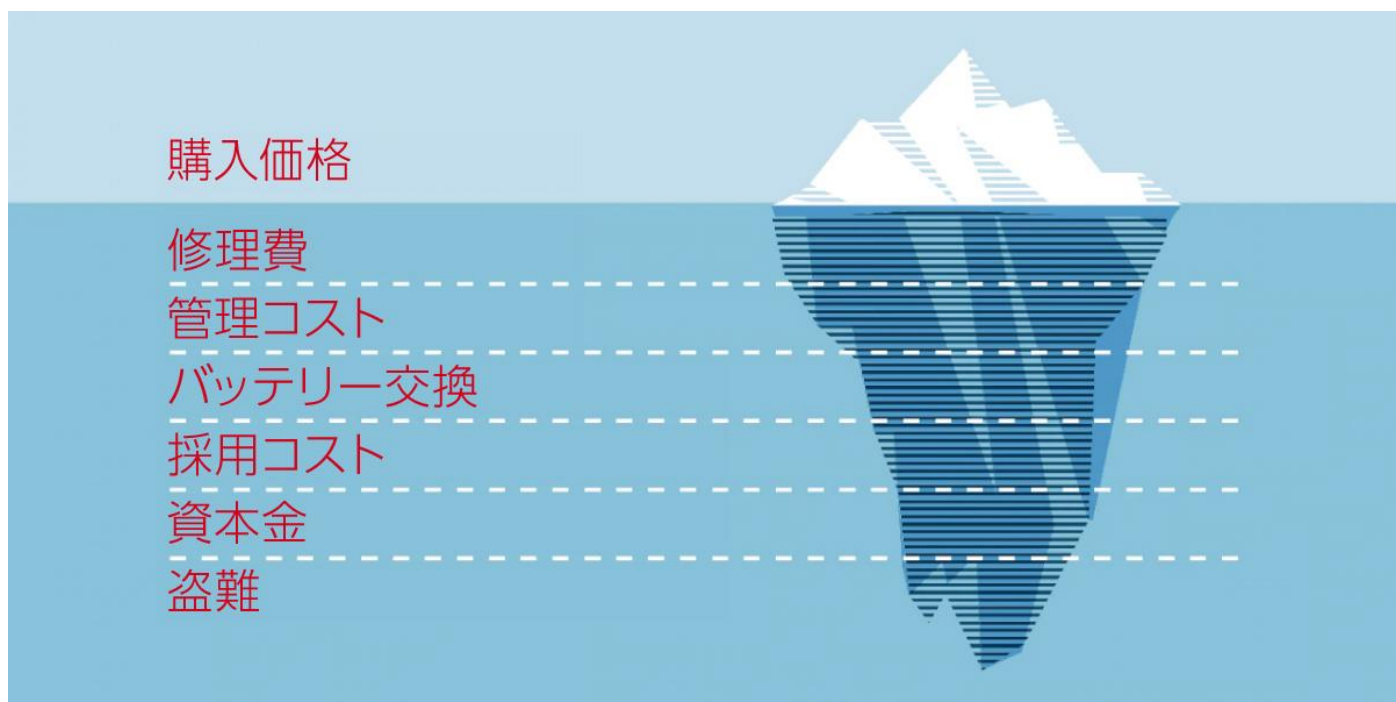
保有工具の真のコスト を算出



保有工具にはトータルでコストがどれくらいかかっているかご存知でしょうか。非効率性を特定することは、隠れたコストを軽減する第一歩です。

日々のビジネスプロセスに透明性をもたらすことにより、隠れた問題を発見でき、それらを取り除くソリューションを開発できるようになります。これにより、プロジェクトをより低コストでより早く完成できるようになります。

保有工具の真のコストをみるには、まず直接的および間接的コストを明らかにする必要があります。



次に、現場、車両および倉庫を点検し、充電、価格、使用回数、メーカーなどの工具の詳細な在庫を詳細に記録する必要があります。安全衛生上の危険、古くて壊れた工具、保有しているバッテリープラットフォーム数など、工具関連の詳細や現在会社がおかれている現状について注記することも役立ちます。

これは時間のかかる仕事のように思われますが、保有工具に潜む隠れたコストの見える化は、工具の製品寿命に渡り、どれだけのコストがかかるかを明らかにするのに役立つと同時に、それらに対応する方法を見つけるうえで役立ちます。

この分析の結果、以下が特定できます。

- 作業事故のリスクを増す安全ではない工具の保有
- 防塵機能のない工具で作業している為、作業を妨げる病気を患うリスク増加
- 工具の追跡に問題がある不正確なスプレッドシート等
- 工具の紛失や盗難
- 予備の工具やあまり頻繁に利用しない工具の保有（紛失したり、壊れたりした工具に置き換えるために土壇場で購入したものの可能性が高い）

この分析により、改善すべき点を特定し易くなります。ビジネスを改善できます。新しい技術を取り入れる事により、不正確なスプレッドシートの使用を止める、あるいは安全性と効率を改善するために電源コード付き工具をコードレス工具に切り替えるといった事を検討できるようになります。

ヒルティでは、生産性の現状分析サービスの一部として、お客様のビジネスの非効率性を特定するために、この分析を実施する専門家を揃えています。

セキュリティ リスクの軽減



プロジェクトは通常遠隔地で進行し、多くの作業員が出入りするため、建設現場は盗難に対して脆弱です。

日々のビジネスプロセスを見える化することにより、隠れた問題を発見し、それらを取り除くソリューションを検討することが可能になります。これにより、プロジェクトをより低コストでより早く完成させることができますようになります。

工具の真のコストをみるには、直接のおよび間接的コストを明らかにする必要があります。

建設業界の回答者の92%は、盗難を経験しており、21%はそのビジネスで盗難が毎週の問題となっていると主張しています。

建設現場での盗難のリスクを軽減するには、ビジネスで保有するすべての機器や材料の明確な記録を付けておき、工具や重機の管理の透明性を高める必要があります。

タグ付けやクラウドソフトウェアによって、各アイテムを特定の場所や人に割り当てる資産管理ソフトウェアや資産追跡は盗難リスクを軽減できる素晴らしいソリューションです。これにより、作業員は工具管理への意識向上を促され、資産の紛失や盗難を減らすことにつながります。

しかし、盗難が発生した場合にはどうでしょう？プロジェクトを期日通りに完成させるのに重要な工具や機器を紛失しても保証されますか？このロスはダウンタイムにどれほど影響を与えるのでしょうか？工具の買い替えにいくらお金がかかり、適切な機器を供給し、見積もりを得るのにどれくらいの管理部門の時間が無駄になるのでしょうか？

盗難に対応するソリューションを探す必要があります。資産管理システムは、時間とコストのかかるこれまでの煩雑な管理を解消し、工具の紛失や盗難の際の対応プロセスを簡素化します。

資産管理システムにより、管理コストを最大50%削減できます。

(出典: 英国の統計)

フリート機のご契約は、購入時の一括払いを必要としません。その代わりに、月額をお支払頂きます。この月額には工具の利用、サービス、修理費が含まれ、この仕組みにより、管理費を最大50%削減することができます。工具は最大4年間、修理や交換を保証されており、故障した工具を直ちに修理に出すことができます。

お客様が本来の仕事に集中できるよう、工具のことはヒルティにお任せください。

[資産管理サービスの詳細を見る >](#)



スキル および トレーニングへの投資



多くの建設会社は、熟練労働者不足に直面しており、お客様が既に雇用しているチームの生産性を高めることがますます重要になっています。

62%の建設会社は、熟練労働者の不足はビジネスの妨げとなっていることを報告しています。¹

業界では現在、高いスキルを備えたマネージャ、そして専門的労働者が不足しています。この主な理由のひとつは、建設労働者の高齢化によるものです。多くの建設労働者が引退しており、50歳以上の労働者が22%を占め、60代の労働者が15%を占めており、引退者の比率が増える傾向にあります。

この労働者不足を解決するには、業界への新規の若い参入者を惹きつけることに重点的に投資する必要がありますが、これには以下を含む数多くの問題点があります。

- 業界イメージ。建設作業は汚く危険で、低賃金、貧弱な福利厚生、限定的なキャリアならびに教育機会と考えられていると、労働者を惹きつけることは困難です。
- 我々が存続するためには、より多くの研修制度やインターンシップ、インセンティブを導入するなど、教育システムが必要です。
- 企業は、自社の労働力の訓練についてより多くのインセンティブを要します。特に、スタッフが退社後にスキルを他社で使用する点を心配する必要があります。

¹ <https://www.telegraph.co.uk/business/2017/11/16/skills-shortage-tightens-around-uk-construction-sector/>

建設業界の労働力不足を是正することは容易な仕事ではありませんが、労働者は適正なスキルなくして生産的になりえません。

既に雇用している労働者のスキルを改善するには、例えば、どのような種類の訓練や労働安全資格証明書を保有しているかなど、全体的な状況を明確に把握することが重要です。

資産管理ソフトウェアは従業員の証明書の記録を付けることができ、要件に対して不備があればお知らせします。

生産的な方法でチームと資産を割り当てることにより、大きな改善が期待できます。

これを実施する簡単な方法を見つけるには、次の章: **効率的な資産管理**をお読みください。



効率的な資産管理



すべての請負業者や建設作業者は、工具の紛失、買いだめや破損に係わらず、工具管理が不適切だとビジネスの効率と生産性に影響を与えることを知っています。

工具管理に様々な努力が払われても、よく見受けられるのは、鉛筆、紙とスプレッドシートへの依存であり、すべてコストが高くつくミスに陥りやすい習慣です。

建設現場における工具や機器探しや重複購入により、非常に多くの時間とお金が現場で無駄に使われています。弊社の調査によると、平均して月あたり90時間が建設現場で資産を探すことに費やされています。

月あたり90時間が建設現場で資産を探すことに費やされています。

この問題を解決するソリューションがあるでしょうか？ 工具や機器を追跡し、常に状況を確認できる能力を持つことは、生産性を改善するために重要です。

資産管理ソフトウェアとは簡単に言えば、倉庫、車両、現場全体で資産をたどることができるソフトウェアであり、いつでもその場所とコンプライアンス状況を提示してくれます。これはバーコードタグを使用することで達成され、スマートフォンを使用して資産管理システムへスキャンされます。そうすることにより、携帯デバイスでシステムへログインし、必要なアイテムの場所、その管理責任者、そのアイテムが良い状態にあるかが分かるようになっています。

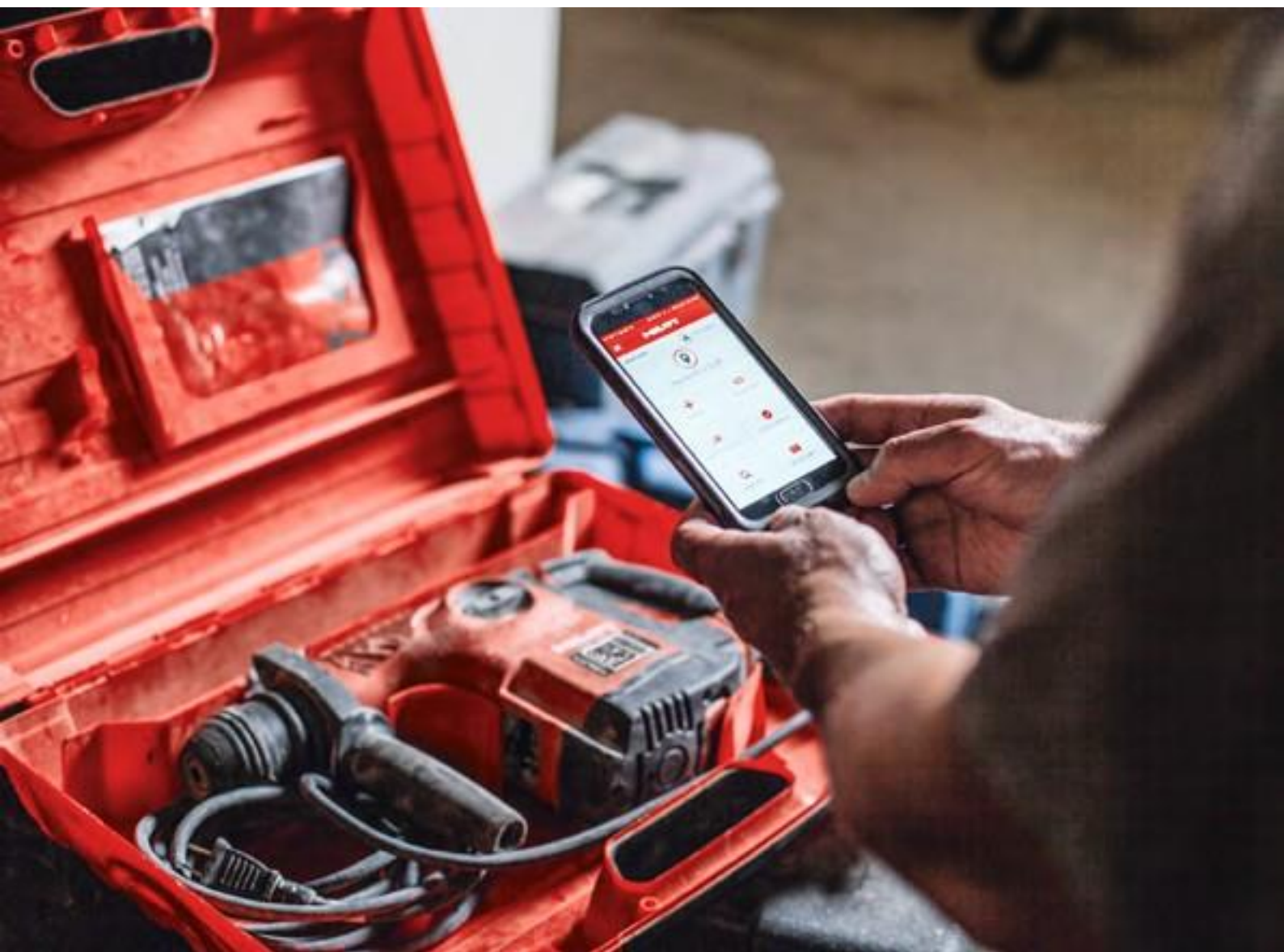
従業員が紙ベースのシステムと電話を使用して、アイテムを追跡するのに何時間も費やす必要がなくなり、使用できない状態で倉庫から現場へ工具が届けられることはあり得ません。

ヒルティの工具サービスは、ビジネスで資産管理を効率的に実施するのに必要なすべてのソフトウェア、ハードウェア、サービスを提供します。建設業界への深い理解から開発されたON!Trackは、この業界専用のソリューションです。

カスタマイズ、導入、タグ付け、技術サポートに至るまで、フルライフサイクルサポートをご提供します。

細かな管理をヒルティに任せ、お客様は本来のお仕事に専念いただけます。

[資産管理ソフトウェアON!Trackについて詳細はこちら>](#)



ヒルティについて： 生産性を向上する ソリューションを提供



ヒルティは、75年以上にわたる建設業への知見に基づき、お客様が保有工具を最適化および合理化する機会を特定し、工具やその他資産の管理をデジタル化し、隠れたコストを最小に抑え、全体的な生産性を高めます。

工具管理にあらゆる努力が払われても、よく見受けられるのは、鉛筆、紙とスプレッドシートに依存したビジネスであり、これらはすべてコストが高くつくミスを引き起こしやすい習慣です。

建設現場における工具や機器探しや重複購入により、非常に多くの時間とお金が現場で無駄に使われています。弊社の調査によると、平均して月あたり90時間が建設現場で資産を探すことに費やされています。

建設ビジネスにおいて収益と生産性を高めるための重要事項について、ぜひ、[ヒルティへご相談ください](#)>



T 0120-66-1159
www.hilti.co.jp